

健康マネジメントコースの専門教育課程について

スポーツ・健康科学部健康科学科 健康マネジメントコースでは、食品・栄養・運動を通じた国民の健康維持・増進、疾病予防に貢献し得る人材の養成を目的とする。

①健康マネジメントコース修了認定の方針

健康マネジメントコースでは、卒業に必要な単位を取得し、以下に示すような能力を備えていると認められる学生にコース修了の認定を行う。

1. 豊かな教養と専門的知識およびそれを活用する技能

- (1) 心身の健康づくりにおける、食品・栄養・運動の重要性を深く理解している。
- (2) 各ライフステージにおける生理学的特性や健康問題を深く理解し、健康づくりに向けて食品・栄養・運動を通じた活動の実践・指導をする能力を有している。

2. 他者との協同による問題発見・解決能力と、それを支える思考・判断・表現力

- (1) 今日の健康問題や社会動向に対し、食品・栄養・運動を通じた課題の解決策や手法を考察することが出来る。
- (2) 健康マネジメントコースで修得した知識・技術を活用し、国民の健康づくりに向けた活動を他者と協同して実行することが出来る。

3. 自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感

- (1) 最新の健康問題や社会動向に常に関心を持ち、食品・栄養・運動を通じた国民の健康づくりに貢献しようとする意欲と自己研鑽の姿勢を有している。
- (2) 健康マネジメントコースで修得した知識・技術や、インターンシップやボランティア活動等を通じた経験を生かし、キャリアプランを形成し実行することが出来る。

4. 本学の建学の精神や本学の理念に対する理解

- (1) 国際社会が直面する健康課題を含めた諸問題に対し、グローバルな視点から理解し、多様性を受入れたコミュニケーションや協同作業をすることが出来る

②健康マネジメントコースの教育内容と教育方針

健康マネジメントコースでは、卒業認定・学位授与方針に掲げる能力を修得させるために、以下のような内容、方法、評価の方針に基づき、教育課程を編成する。そして、本学の教育理念に基づき、健康づくりに向けた健康マネジメント分野のスペシャリストを育成する。

1. 教育内容

- (1) 栄養学（基礎と応用）、食品科学、健康運動づくりの理論、スポーツ生理学、ヘルスプロモーション概論などの専門科目を通じて、食品・栄養・運動が持つ健康への影響について総合的な知識と理解を養い、食品衛生管理者、食品衛生監視員、健康運動実践指導者をはじめとした国民の健康づくりに貢献する人材を育成する。
- (2) 健康マネジメントキャリアデザイン演習、健康科学インターンシップ A、B などを通じて、キャリア形成プランの作成を可能とする。

※ 取得可能資格及び免許：食品衛生管理者、食品衛生監視員、健康運動実践指導者

2. 教育方法

- (1) 1年次で必修科目として学ぶ基礎教育科目・語学、健康科学の基礎的内容を礎として、2年次より食品・栄養・運動を通じた健康マネジメントに関する専門的知識を修得させる。
- (2) 主体的な学びを促進するためにアクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、プレゼンテーション等の機会を提供することで、能動的に学びながら他者と協同する姿勢や情報発信力を養成する。
- (3) 地域・企業と協働で行われる授業を積極的に導入することで、職業人としての責任感や実践力を身に付ける。
- (4) 3年次、4年次の卒業研究演習、卒業研究の履修を必修とし、4年間の学びで培った専門知識に基づき、主体的に取り組む力や課題発見および解決できる力を養成する

3. 評価方法

- (1) 学位授与方針で掲げられた能力の形成的な評価として、健康科学科健康マネジメントコースにおける卒業要件達成状況、単位取得状況、GPA等の結果によって測るものとする。
- (2) 卒業研究担当教員による研究指導をもとに、研究活動の状況と作成された卒業論文を評価の対象とする。